

平成 27 年度～令和 2 年度

**第 1 期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略
総括（報告書）**

令和 3 年 11 月

寝 屋 川 市

1 第1期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について

(1) はじめに

第1期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「市総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少対策に取り組むため、平成28年2月に策定しました。この間、市総合戦略に掲げた数値目標や重要業績評価指標（KPI）の進捗状況等について、毎年度、外部の有識者などで構成する検証委員会及び市職員で構成する推進委員会で検証し、新たな事業の立案・追加を行うなど、着実に取組を進めてきました。

本報告書は、令和2年度末をもって計画期間が満了したことから、市総合戦略の総括を行うものです。

(2) 市総合戦略の概要

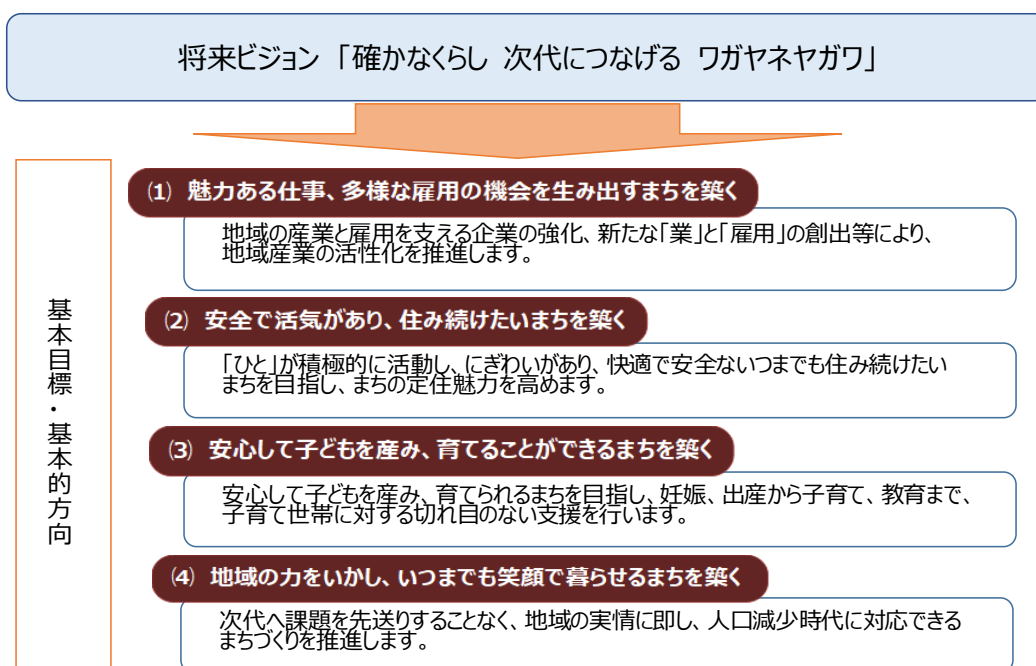
ア 計画期間

平成27年度から令和2年度までの6年間

※ 「第2期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、令和3年度を始期とする「第六次寝屋川市総合計画」と統合して策定するため、第1期の計画期間を1年間延長しました。

イ 基本目標と基本的方向

国、大阪府の総合戦略が定める政策分野、人口ビジョンにおいて定めた将来展望を勘案して将来ビジョンを「確かなくらし 次代につなげる ワガヤネヤガワ」とし、本市の実情に応じた4つの基本目標とそれぞれの基本的方向を定めています。

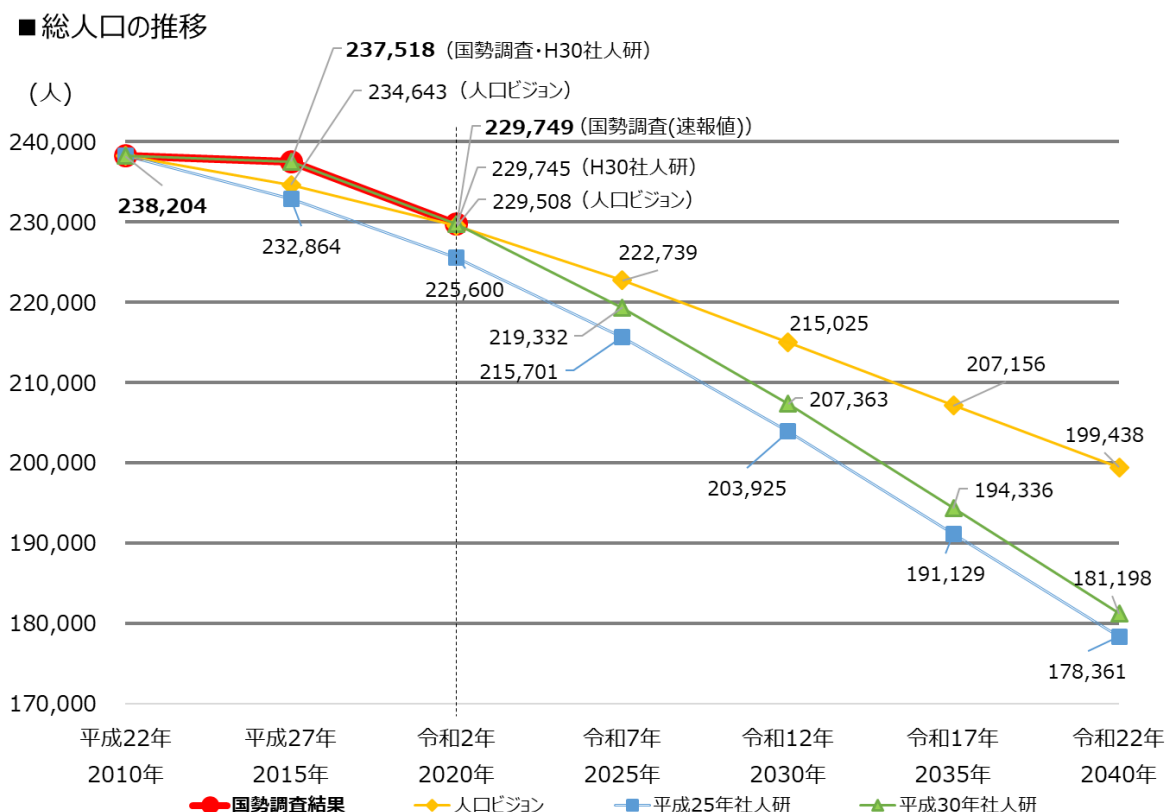


2 人口の動向

(1) 総人口の推移

平成 28 年 2 月に策定した人口ビジョンでは、令和 2 年の総人口を 229,508 人と推計していましたが、国勢調査（速報値）の実績では 229,749 人となり、推計をやや上回っています。

平成 27 年から令和 2 年の人口減少率で見ると、人口ビジョンは△2.2%（H27 年 234,643 人⇒R 2 年 229,508 人）、実績は△3.3%（H27 年 237,518 人⇒R 2 年 229,749 人）となっており、減少傾向は加速化する結果となっています。



■ 令和 2 年国勢調査の結果（速報値） (人、%)

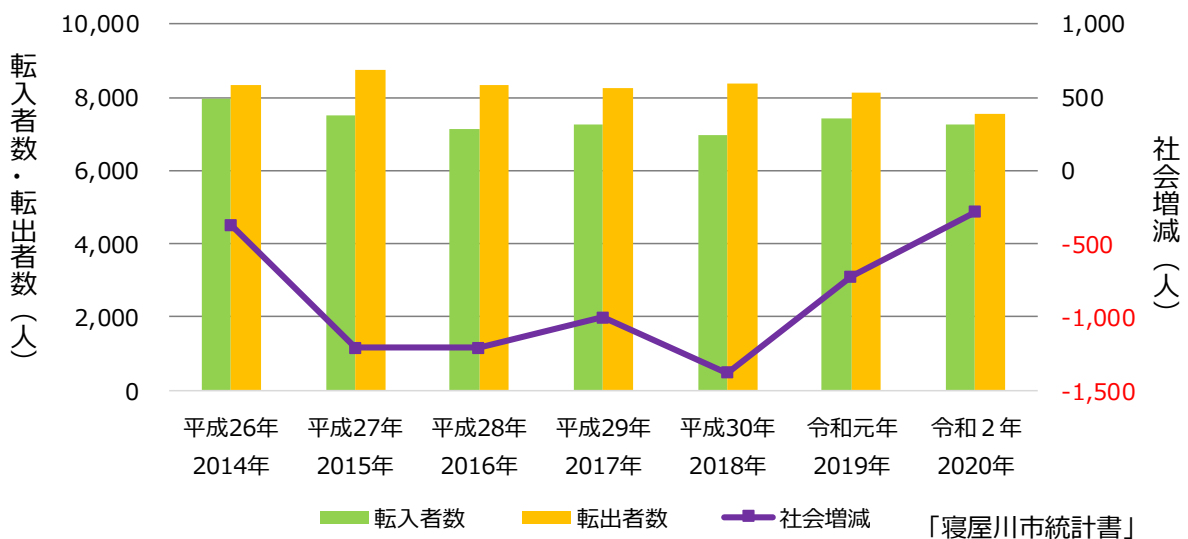
	R 2 年 2020 年	H27 年 2015 年
総人口	229,749	237,518
対前回調査増減数	△7,769 府内順位 41 位/43 市町村	△686 府内順位 15 位/43 市町村
対前回調査増減率	△3.3 府内順位 30 位/43 市町村	△0.3 府内順位 11 位/43 市町村

(2) 人口動態の推移

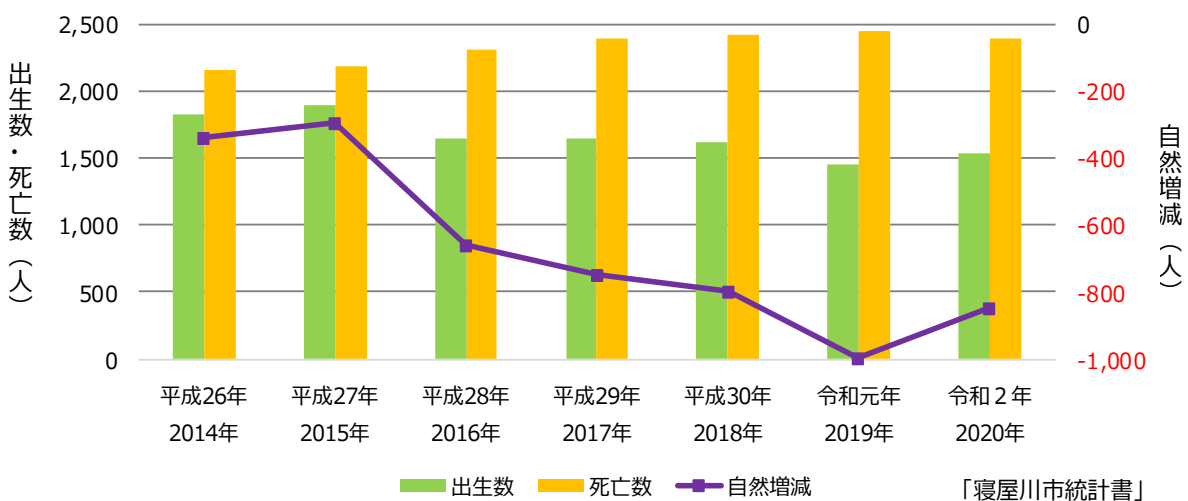
社会増減は、平成 27 年以降、毎年 1,000 人を超える転出超過が続いていましたが、令和 2 年の転入者数は 7,261 人、転出者数は 7,546 人、転出超過は 285 人と、一定の改善が図られた状況となっています。

自然増減は、少子高齢化の進行に伴う自然減が続く状況となっており、減少数は年々拡大傾向にあります。令和 2 年は、出生者数 1,539 人、死亡者数 2,385 人で、846 人の減少となっています。

■ 転入者数・転出者数（社会増減）の推移



■ 出生数・死亡数（自然増減）の推移



(3) 高齢化率の推移

令和2年の高齢化率（住民基本台帳ベース）は29.9%となり、人口ビジョン及び国立社会保障・人口問題研究所の推計よりやや低い結果となっています。

■ 高齢化率の推移 (%)

	H22年 2010年	H27年 2015年	R2年 2020年	R7年 2025年	R12年 2030年	R17年 2035年	R22年 2040年
国勢調査結果	23.4	28.7	(※) 29.9	—	—	—	—
人口ビジョン	23.4	28.5	30.5	30.8	31.4	33.1	35.7
平成25年社人研	23.4	29.2	31.9	32.9	34.3	36.8	40.5
平成30年社人研	23.4	28.7	32.1	33.3	34.8	37.3	41.5

※令和2年10月1日時点の住民基本台帳人口から算定

3 数値目標・重要業績評価指標（KPI）の状況

第1期市総合戦略に掲げる4つの基本目標ごとに、数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成率の状況を中心に振り返り、今後の地方創生の取組につなげます。（P6～9参照）

■ 各基本目標の総括について（P6～9）

【数値目標・重要業績評価指標（KPI）】

第1期市総合戦略に掲げる基本目標ごとの数値目標・重要業績評価指標（KPI）の令和2年度（計画最終年度）時点の達成率を記載しています。

※新型コロナウイルス感染症への対応に伴う影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うイベントや講座、調査などの中止等により、令和2年度の実績が無い指標又は令和元年度実績と比較して50%以上減少している指標については、達成状況を正確に評価できないことから、令和元年度実績値等を基に達成率を算出することとします。

【基本目標の総括】

各基本目標の指標の達成状況を中心に、成果や課題を整理し、第1期市総合戦略の振り返りと今後の方向性等について記載しています。

■ 各基本目標の達成状況（まとめ）

		計	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
目標達成 (達成率100%以上)		9	0	5	2	2
未 達 成	達成率80%以上	20	6	3	8	3
	達成率80%未満	7	4	3	0	0
計		36	10	11	10	5

◇ 基本目標 1 : 魅力ある仕事、多様な雇用の機会を生み出すまちを築く

	指 標	基準値 平成26年度	実績値 令和 2 年度	目標値 令和 2 年度	達成率	
数値 目標	市内従業者数	65,372人	69,396人	70,000人	99.1%	
	特定創業支援事業を活用した市内 創業者数	16人	14人 (※)	22人	63.6% (※)	
重要業績 評価指標 (KPI)	商店街等の活性化事業への申請件 数	13件	18件 (※)	23件	78.3% (※)	
	「市内で買い物がしやすい」と思う市 民の割合	65.5%	61.5%	70.0%	87.9%	
	創業支援セミ ナー参加者数	セミナー参加者数	5人	18人 (※)	20人 (※)	90.0% (※)
		創業に結び付いた 人数	2人	4人 (※)	7人 (※)	57.1% (※)
	経営支援の相談件数（製造業）		478件	242件	620件	39.0%
	地域就労支援センターへの相談から 就労に結び付いた件数		19件	12件 (※)	15件	80.0% (※)
	女性の就労のためのセミナー参加者 数		60人	125人 (※)	132人	94.7% (※)
	障害者の一般就労人数		40人	47人	55人	85.5%

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度の実績が無い指標又は令和元年度実績と比較して50%以上減少している指標の達成率は、令和元年度の実績値等を基に算出している。創業支援セミナー参加者数の令和 2 年度目標値は、セミナー実施回数を見直しを予定した目標値のため、令和元年度目標値で達成率を評価している。

基本目標 1 の総括

- ・基本目標 1 の指標の達成状況は、全10指標中目標を達成した指標は無かったものの、目標値の80%以上達成した指標は 6 指標となった。
- ・「市内従業者数」については、ねやがわシティ・ステーションにおける就労支援サービス窓口の設置や就労支援・相談事業の推進に加え、大型量販店の出店に伴う求人増などの影響により、基準値（平成26年度）から約4,000人の増加となった。引き続き、ハローワークと連携し、市内企業の求人ニーズと市民の求職ニーズのマッチングを促進することで、市内全体の就労環境の充実を図っていく必要がある。
- ・「特定創業支援事業を活用した市内創業者数」及び「創業支援セミナー参加者のうち創業に結び付いた人数」の達成率は、目標値を下回っている。創業支援事業を利用しても創業に至らないケースが多くあることから、商業・工業・農業の各分野を越えた交流や取組を支援するなど、創業者が起業しやすい環境を整備し、市内経済の活性化につなげていく必要がある。
- ・今後も引き続き、社会経済情勢やニーズの変化を的確に捉え、また新型コロナウイルス感染症による市内産業への影響も十分に踏まえる中で、より効果的な産業支援の在り方を検証するなど、市内産業の更なる活性化に向けて取組を加速させていく。

◇ 基本目標 2 : 安全で活気があり、住み続けたいまちを築く

	指 標	基準値 平成26年度	実績値 令和 2 年度	目標値 令和 2 年度	達成率
数値 目標	人口の社会移動（1月～12月） （転入者数－転出者数）	△371人	△285人	△160人	56.1%
	生産年齢人口の減少数（前年比） 〔人口移動の表記〕	2,929人 〔△2,929人〕	927人 〔△927人〕	1,366人 〔△1,366人〕	147.4%
重要業績 評価指標 （KPI）	「駅周辺が魅力ある空間である」と思 う市民の割合	33.6%	31.1%	40.3%	77.2%
	密集住宅地区における不燃領域率	34.1%	39.5%	40.0%	98.8%
	「歩行者にやさしい道路整備が進ん でいる」と思う市民の割合	13.2%	22.0%	17.1%	128.7%
	市内の犯罪発生件数	3,419件	1,466件	1,550件	105.7%
	「雨の時に浸水の不安がある」と思 う市民の割合	50.2%	47.7%	40.0%	87.2%
	安全見守り隊登録者数	5,315人	4,295人	4,600人	93.4%
	婚姻届出数	2,372件	2,027件	2,800件	72.4%
	携帯端末用アプ リケーションのダウ ンロード件数	広報誌閲覧アプリ 「マチイロ」	—	1,428件	1,200件
市公式アプリ「もっ と寝屋川」		—	45,732件	30,000件	152.4%

基本目標 2 の総括

- ・ 基本目標 2 の指標の達成状況は、全11指標中 5 指標が目標を達成した。なお、目標値の80%以上達成した指標は 8 指標となった（目標達成した指標を含む）。
- ・ 「人口の社会移動」は、令和 2 年度は285人の転出超過となり、目標値の達成には至っていない。また、平成27年から令和元年是、毎年千人程度の転出超過となっており、本市の人口減少が続く厳しい状況となっている。
- ・ 「生産年齢人口の減少数」は、令和2年度は927人の減少となり、目標値を達成した。毎年の生産年齢人口減少幅は少しずつではあるが改善傾向にあり、引き続き、現役・若者世代が暮らしやすい、魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。
- ・ 「市の犯罪発生件数」は確実に減少している。また、「密集住宅地区における不燃領域率」は改善傾向にあり、暮らしの安全・安心につながる取組の成果が現れている。
- ・ 「『駅周辺が魅力ある空間である』と思う市民の割合」の達成率がやや低くなっている。これは都市計画道路対馬江大利線整備が施工途中であること等が要因の一つであると考えられる。今後、当該事業の着実な進捗を図るとともに、新中央図書館の設置や駅前庁舎の取得など、駅周辺の魅力を更に高め、市民サービスの充実と市民の利便性の向上を図る。
- ・ 今後、2 軸化構想の実現に向けた取組を着実に進めるとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進することで、若い世代を始めとする多くの人々が本市に住みたい、住み続けたいと感じるまちの魅力をより一層高めていく。

◇ 基本目標3：安心して子どもを産み、育てることができるまちを築く

	指 標	基準値 平成26年度	実績値 令和2年度	目標値 令和2年度	達成率
数値 目標	合計特殊出生率	1.44	1.47	1.44	102.1%
	「安心して子どもを産み、育てることができるサービスや環境が整っている」と思う市民の割合	21.0%	38.5%	40.0%	96.3%
	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	76.2%	70.95% (※)	80.6%	88.0% (※)
重要業績 評価指標 (KPI)	子ども医療費受給者率	99.06%	98.80%	100%	98.8%
	出生数	1,896人	1,478人	1,763人	83.8%
	小学校全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比	0.981	1.011 (※)	1.015	99.6% (※)
	中学校全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比	0.946	0.978 (※)	1.000	97.8% (※)
	平日に家や図書館で読書をする児童・生徒の割合	62.6%	63.5% (※)	71.6%	88.7% (※)
	家庭教育サポーター活動回数	5,250回	6,556回	7,700回	85.1%
	通学路安全対策（カラー舗装）施工箇所数	3件	108件	105件	102.9%

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実績が無い指標又は令和元年度実績と比較して50%以上減少している指標の達成率は、令和元年度の実績値等を基に算出している。

基本目標3の総括

- ・ 基本目標3の指標の達成状況は、全10指標中2指標が目標を達成した。なお、全ての指標が目標の80%以上の達成となった。
- ・ 「『安心して子どもを産み、育てることができるサービスや環境が整っている』と思う市民の割合」の指標は、一定の改善を示しており、子育て総合支援拠点RELATTO(リラット)の運営や待機児童ZEROプランの取組の実施などによる成果が現れたものと見込まれる。
- ・ 「小学校全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比」及び「中学校全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比」は、いずれも改善傾向となっており、インターネットコンテンツを活用した学習支援など教育環境の充実による成果が現れたものとする。
- ・ 「出生数」は、さまざまな子育てサービスの充実を図ってきたものの、令和2年度は、1,478人と目標達成に至っていない。引き続き、ニーズを的確に捉え、安心して出産・子育てができ、若い世代が子どもを産み育てたいと思える環境を構築していく必要がある。
- ・ 引き続き、子育ての負担軽減や安心して出産できる環境整備を推進するとともに、小中一貫校の設置を始め、本市独自の「寝屋川方式の学習法」の確立など、教育環境の充実と更なる向上を図っていく。

◇ 基本目標 4 : 地域の力をいかし、いつまでも笑顔で暮らせるまちを築く

	指 標	基準値 平成26年度	実績値 令和 2 年度	目標値 令和 2 年度	達成率
数値 目標	健康寿命（日常生活に制限のない 期間）	男77.96年 女81.90年	男78.61年 女83.41年 （※ 1）	男79.55年 女83.42年	男98.8% 女99.9% （※ 1）
重要業績 評価指標 （KPI）	介護予防事業の参加者数	29,502人	40,375人 （※ 2）	40,600人	99.4% （※ 2）
	各種スポーツ事業の参加者数	25,234人	37,726人 （※ 2）	35,000人	107.8% （※ 2）
	グリーンセンター発電によるCO2削減量	—	3,510 t-CO2/年	3,808 t-CO2/年	92.2%
	地域協働協議会主催事業への参加者数	—	24,546人 （※ 2）	24,000人	102.3% （※ 2）

※ 1 令和2年度の実績値が未公表のため、令和元年度の実績値を基に達成率を算出している。

※ 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度の実績が無い指標又は令和元年度実績と比較して50%以上減少している指標の達成率は、令和元年度の実績値等（「各種スポーツ事業の参加者数」は平成30年度実績値）を基に算出している。

基本目標 4 の総括

- ・ 基本目標 4 の指標の達成状況は、全 5 指標中 2 指標が目標を達成した。なお、全ての指標が目標の80%以上の達成となった。
- ・ 「健康寿命」は、一定の改善となっている。生活習慣病対策や各種健診の受診勧奨など、予防・健康づくりの取組の成果が現れたものとする。
- ・ 「各種スポーツ事業の参加者数」は、平成30年度実績では目標を達成している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、スポーツイベント等が相次ぎ中止となっており、市民の身体的・精神的な健康維持を図るために、スポーツに親しめる機会と環境の充実を図る必要がある。
- ・ 「地域協働協議会主催事業への参加者数」は、令和元年度実績では目標を達成している。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、地域イベント等が開催中止となっている。今後、地域の共助による支え合いの重要性がより高まっていくことから、引き続き、地域活動の担い手の確保を含めた地域コミュニティ活性化に向けた取組を推進していく必要がある。
- ・ 今後、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた安全・安心を確保したイベント事業等の在り方を検討するとともに、地域の担い手不足や高齢化の進行などを踏まえた中で、地域コミュニティの更なる活性化を図る取組を積極的に推進していく。

4 おわりに

第1期の市総合戦略に基づき、全149事業にのぼる人口減少対策に資する取組を推進し、設定した数値目標やKPIの約80%が8割を超える達成率となっており、本計画の推進による一定の成果を挙げたと言えます。しかしながら、目標値の達成に至らない指標も多数あり、今後、成果や効果の検証を踏まえた事業見直しを不断に実施するとともに、課題の本質を捉えた社会に新たな価値を提供するような施策の立案を積極的に進めていく必要があります。

また、人口推移は、令和2年の時点では概ね人口ビジョンの推計通りとなっています。その一方で、平成30年社人研推計では、5年前の推計と比べて令和22年（2040年）の高齢化率が上昇する結果となっています。今後は、人口減少対策の推進のみならず、人口の年齢構成のリバランスを図るための施策・事業を積極的に実施し、まちの持続可能性を高めていかなければなりません。

令和3年度から第六次寝屋川市総合計画がスタートしています。まちの将来像を「新たな価値を創り、選ばれるまち寝屋川～イノベーションの創出～」と定め、市内外から本市に住みたい、住み続けたいと感じてもらえるまちづくりを進めていくこととしています。この目指すべき将来像は、まち・ひと・しごと創生総合戦略が目指す方向性と同様であることから、第1期市総合戦略の課題等を踏まえた上で（令和2年8月市総合戦略検証委員会で検証）、第2期市総合戦略は総合計画と統合して策定しました。

今後、人口減少・少子高齢化の加速度的な進行が見込まれるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした新たな日常の構築やデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進にも迅速に対応していく必要があります。こうした市を取り巻く急速な変化を的確に捉える中で、第六次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策・事業を着実に推進し、将来像の実現に向けた取組を進めてまいります。